



「マイバッグの輪」 広げていきましょう

三者協定を結んだ市民団体
つるが男女共同参画ネットワーク
会長 あまの すみえ 天野 寿美恵さん

今回、三者協定を結ぶことができ、とてもうれしく思います。社会全体の環境意識の高まりもあり、敦賀市の消費者、女性の声事業者や行政に届き、協力を得られたものと思います。

私たちは、市民団体として今後も、地域内での啓発はもちろん、各店舗でのチラシ配り、呼びかけなど、目に見える形で行動していきたいと思ひます。

敦賀を環境にやさしいまちにするために、私たち消費者の力が必要です。皆さん、私たちと一緒にマイバッグの輪をどんどん広げていきましょう。

レジ袋が有料化になるお店

(株)エフレ (清水店、相生店、金山店、Day's 店、古田刈店)

(株)プリオ (プリオマート)

福井県民生活協同組合
(ハーツつるが)

(株)平和堂 (アル・プラザ敦賀)

(株)ヤスサキ (グルメ館敦賀店)

(株)ユース (敦賀店、木崎店)

(株)クスリのアオキ
(敦賀店、敦賀南店)

中部薬品(株) (V・drug 木崎店)

※「ハーツつるが」はすでに有料化実施済み

マイバッグ運動によるごみの減量を目指し、今年3月2日から、市内のスーパー、ドラッグストアで、一斉にレジ袋が有料化されます。

まだマイバッグを持っていない皆さん、マイかご、マイ風呂敷、マイ〇〇……レジ袋の代わりになるものなら何でも大丈夫。

今日から、環境にもお財布にも優しい「マイバッグ生活」始めましょう。

3月2日～ レジ袋が 有料化

はじめよう マイバッグ生活

マイバッグ運動を全市的に広めるため、一月二十二日に、事業者(右表上の八店)、市民団体(つるが男女共同参画ネットワーク)、市の三者で協定を締結しました。この協定によって、敦賀市におけるマイバッグ持参率80%を目指し、三者がそれぞれの役割のもと協働して取り組むことになりました。



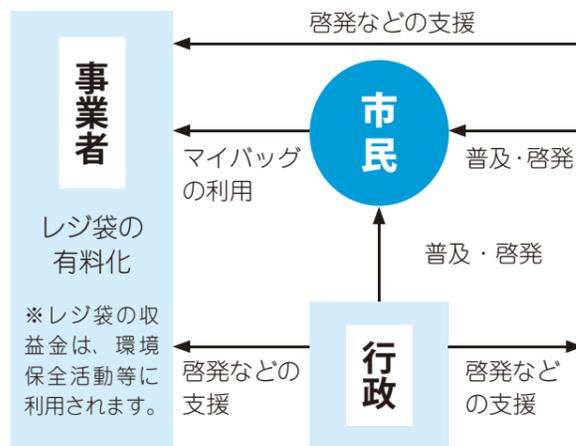
協定を締結した事業者・市民団体の皆さんと河瀬市長



三者協定を締結。
目標は持参率80%。

市では、市民の皆さん・事業者とともに、マイバッグ運動を進めます。

【それぞれの役割】



市では今後も、市民の皆さん・事業者とともにマイバッグ運動を進めます。「マイバッグは敦賀市民なら当たり前」。こんな言葉がまちで交わされるような、環境先進都市を一緒に目指していきましょう。

マイバッグを持参しましょう



マイバッグ持参⇨レジ袋減量⇨ごみ減量

マイバッグのススメ。

レジ袋を使わず、マイバッグで買い物をするには「ごみ減量化」の第一歩です。ごみの減量は、市のごみ焼却炉や最終処分場の負担軽減、延命化につながり、ひいては、貴重な石油資源の節約、地球温暖化防止にもつながります。マイバッグを持つことは、すぐに始められる身近なエコ活動です。



年間約50トンのごみ減量

レジ袋の使用量は、年間一人300枚と言われています。敦賀市の人口で計算すると年間約2,100万枚にもなり、重さは約150トンになります。マイバッグを持参することで、レジ袋の3分の1を使用しないと仮定すると、年間約50トンのレジ袋がごみにならずにすみます。



自分に合ったマイバッグを

現在いろいろな大きさ、デザイン、素材のマイバッグが販売・配付されています。自分のライフスタイルに合わせ、お気に入りの一枚を選んで使用するのも一つの方法です。また、バッグでなくても、使っていない袋やふろしき、かごでも大丈夫です。これらを活用してマイバッグにできれば、もっと環境への負担が少ない方法になります。大切なのは、レジ袋を使わず買い物をする。自分に合ったマイバッグを持ちましょう。

4/1~

ごみの出し方 一部変わります

敦賀市のリサイクル率の向上を目指し、4月1日から、ごみの出し方が一部変わります。皆様のご理解とご協力をお願いします。



Q 古紙の団体回収補助金制度はどうなりますか？

団体回収補助金制度は継続します。古紙の全町内ごみステーション収集は、団体回収で回収しきれず燃やせるごみとなっている古紙を回収するものであり、団体回収を妨げるものではありません。

Q これまでの資源ごみ指定袋は使えますか？

順次、市販の資源ごみ指定袋のイラストが一部変わりますが、これまでの袋は引き続き使うことができます。

Q ビンを入れるコンテナの管理はどうしたらよいのですか？

コンテナは折りたたみ式です。早朝に組み立てて設置していただくなど、各町内で管理をお願いします。収集後は、収集業者が折りたたんで置きます。

変更②

〇 出し方 〇

4種類に分け、
風に飛ばされないよう
しっかりひもで縛る



新聞類
(新聞紙と折り込みチラシ)

雑誌・本類



段ボール

紙製容器包装

★古紙のリサイクル技術が進歩し、新聞と折り込みチラシを一緒にしてリサイクルができるようになりました。

新聞に折り込みチラシをはさんで出してください。

※雨が降っても集めます。

古紙

今まで
町内ごとに
▶ステーション収集 もしくは
▶団体回収

平成 21 年 4 月 1 日~

すべての町内で
ステーション収集
(月1回)

※各町内の団体回収制度は今後も継続します。団体回収にもご協力ください。



なぜ変わるの？

清掃センターに運ばれる「燃やせるごみ」の半分程度を紙類が占めており、リサイクルされずに燃やされています。

この状況を改善し、少しでも多くの紙をリサイクルしようと、今回のステーション収集の導入となりました。

変更①

今まで

資源ごみ
(週1回)



ビン

平成 21 年 4 月 1 日~

コンテナ収集 (月1回)



透明

色付き



なぜ変わるの？

今まで資源ごみとして集められていたビンは、缶・プラスチック類とともに、清掃センターの手選別ラインで色別に回収していました。

しかし、袋に入れた状態での収集では、その過程で、多くのビン(全体の約3割)が割れる等で回収できずに埋立て処分になっていました。この状況を改善し、リサイクル率を上げるため、コンテナ回収の導入となりました。

〇 出し方 〇

空きびんの

- ① キャップをとる
とったキャップは資源ごみ袋へ
- ② 中を軽くすすぐ
ラベルをはがす必要はありません

2種類に分ける



透明びん

色付きびん

袋に入れずそのまま、
ごみステーションにあるコンテナへ入れてください。

- ※割れたびんも収集します。
- ※「化粧品ビン」も従来の埋立ゴミからビンに変わりますので、コンテナに入れてください。

attention



★ビンと古紙の収集日は、同じ日(毎月1回)です。
★収集日は、各地区別の「ごみ収集カレンダー」(3月上旬に各家庭に配布)でお知らせします。

